

# 令和2年度事業報告について

## 1 オーケストラ運営事業会計（公益目的事業会計1）

（ ） = 県外公演数（内数）

区 分		2年度実績	摘 要
1 オーケストラ運営事業			
自主公演	定期公演	12（2）公演	県内、大阪、名古屋 県内、富山
	特別公演	8（1）公演	
	音楽堂特別公演	11（0）公演	
	ファミリー公演・入門コンサート	5（0）公演	
	新人登竜門コンサート	0（0）公演	
	小 計	36（3）公演	
依頼公演	小・中学校公演	0（0）公演	県内、東京、静岡、長野等
	市町・企業等依頼公演	20（9）公演	
	CD等録音・収録依頼	2（0）公演	
	小 計	22（9）公演	
海外公演		0（0）公演	
		合 計	58（12）公演
小編成による室内楽公演		66（5）公演	
2 ジュニア・アマチュアオーケストラの育成振興事業	<p>○ジュニア・オーケストラ開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5/4（月・祝）いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭 →（コロナにより中止）</li> <li>・3/28（日）第27回定期演奏会</li> <li>・3/31（水）オーケストラの日公演</li> </ul>		
3 その他、音楽文化を通じて地域振興に寄与する事業	<p>○楽器技術講習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月予定 能登地区（コロナにより中止）</li> <li>・10月予定 金沢地区（同上）</li> </ul>		
・楽器技術講習会			
・合唱団の育成	<p>○オーケストラ・アンサンブル金沢合唱団の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2/13（土）京都市交響楽団×OEK公演（第九など） →（コロナにより中止）</li> </ul>		
・ボランティア公演実施	<p>○ボランティア公演の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県庁19階展望ロビーコンサート 1/3（日）</li> <li>・金沢駅構内コンサート（コロナにより中止）</li> <li>・県内医療機関・福祉施設（同上）</li> </ul>		

## 令和2年度 オーケストラ・アンサンブル金沢の特徴的な事業

- (1) 北陸新人登竜門コンサート ピアノ部門 → 次年度に【延期】
- (2) いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭2020への出演  
 4月28日～5月5日開催予定分 → 【中止】  
 9月 6日～12月25日 追加公演開催 石川県立音楽堂コンサートホール  
 オーケストラ公演：計7公演
- (3) O.E.Kと京都市交響楽団との共演  
 京都市交響楽団を招聘し、大編成プログラムをO.E.Kと合同演奏により実施  
 2月14日(日) 石川県立音楽堂コンサートホール
- (4) ベートーヴェン生誕250周年記念 ベートーヴェン交響曲全曲演奏会  
 指揮：マルク・ミンコフスキ(芸術監督) → 来日不可のため次年度に【延期】
- (5) オペラ「ZEN」公演 → 次年度に【延期】
- (6) 室内オペラ「おしち」公演  
 金沢・射水(富山)・四日市(三重)の3つの都市の連携による公演  
 射水公演 1月20日(水) → 【中止】  
 四日市公演 2月10日(水) 四日市市文化会館  
 金沢公演 3月 9日(火) 石川県立音楽堂邦楽ホール

## 2 音楽堂自主事業会計(公益目的事業会計2)

石川県立音楽堂自主事業を3ホール合わせて20事業を実施

洋楽の部	邦楽の部	交流ホールの部
パイプオルガンシリーズ公演(年間2回) 落語・オペラ「おしち」(3/9) 洋邦コラボレーションコンサート ランチタイムコンサート(年間6回) アフターセブンコンサート(年間2回) キッズコンサート(年間4回)  他5事業実施	芸のかたちシリーズ(10/2～10/4) 新春檜舞台(1/17) 音楽堂寄席(年間2回) 芸の鼓動(3/6) 人形浄瑠璃文楽(10/9) こども邦楽アンサンブル	音楽堂フェスタ(9/20) 〔親子で楽しめる伝統芸能等の体験イベント〕 おしゃべりクラシック 〔各種室内楽公演 年間3回〕 カルチャーナビ 〔クラシック音楽講座や芸能講座 年間5回〕
計 11事業	計 6事業	計 3事業

## 3 音楽堂管理会計(公益目的事業会計3 及び 収益事業会計)

石川県立音楽堂の管理運営(県から指定管理者に指定：平成30年4月1日～令和5年3月31日)

年間ホール利用	コンサートホール	155日	
(本番・練習)	邦楽ホール	87日	総入場者数50,282人
	交流ホール	170日	

#### 4 当期収支における新型コロナウイルスの影響について

##### 【オーケストラ運営事業会計（公益目的事業会計1＋法人会計）】

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、上半期に予定していた公演の多くを中止又は延期したり、客席の収容人数を従来の半数に制限したこと等により、チケット収入等の事業収益が大幅減となったが、国の新型コロナウイルスに関連する補助金等の積極的な獲得に努めた結果、新たな財源を確保できたことや、公演中止による出演者への報償費の減や海外アーティストの入国制限による旅費の減など事業経費を抑えることができたことで当期収支は大幅な黒字決算となった。

当期一般正味財産増減額：98,754,426円

##### 【自主事業会計（公益目的事業会計2）】

収入面において、客席の収容人数制限等によりチケット収入等の事業収益が減となったものの、国からの補助金や助成金を確保できたことや、予定していた公演のほとんどを中止することなく延期対応できたことで、当期収支は黒字となった。

当期一般正味財産増減額：1,616,084円

##### 【管理会計（公益目的事業会計3＋収益事業等会計）】

年間を通して貸館のキャンセルが相次いだことにより、主な財源の一つである貸館収入が前年度比で約5割減となり、当期収支は利用料金制を導入した平成21年度以降、最大の赤字決算となった。

当期一般正味財産増減額：△28,742,835円

##### 【全体の収支】

オーケストラ運営事業会計で計上した大幅な黒字額が、管理会計の赤字を大きく上回っており、法人会計を含めた事業団全体の当期収支は黒字決算となった。

当期一般正味財産増減額：71,627,675円

（詳細は次頁以降参照）